

5 力年推進計画 2026～2030

～地域とともに持続可能な公共交通ネットワークの構築に向けて～

2026 年 8 月

四国旅客鉄道株式会社

1 策定の経緯と目的

(1) 策定の経緯

- ・ J R四国は、人口減少や他交通手段の発達に伴い、厳しい経営環境に置かれているが、徹底した経営努力によって収支を改善し、経営自立を図る必要があるため、2020年3月に国土交通省より発出された経営改善に関する行政指導文書に基づき、5年間の事業計画（「5カ年推進計画2021～2025」）を策定し、地域の関係者と一体となって利用促進やコスト削減、実証実験などの取組を行うとともに、持続的な鉄道網の確立に向け、2次交通も含めたあるべき交通体系についての議論・検討を行ってきた。
- ・ 2026年3月、上記の取組に関する総括検証及び事業の抜本的改善方策の検討結果を公表し、その内容を踏まえ、将来にわたって持続可能な交通体系を構築するためには、引き続き地域の関係者と一体となった検討の深度化と取組の着実な実施が必要であることから、同月、国土交通省より経営改善に関する新たな行政指導文書が発出され、その中で、地域の関係者と一体となって利用促進やコスト削減、実証実験等の取組を一層深度化するとともに、2次交通も含めたあるべき交通体系について、徹底的な議論・検討を行うため、5年間（2026～2030年度）の事業計画を策定することが示された。

(2) 策定の目的

- ・ J R四国と地域の関係者は一体となって、この事業計画（推進計画）に基づき、利用促進やコスト削減、実証実験などの取組をより一層深度化するとともに、2次交通も含めたあるべき交通体系について、徹底的な議論・検討を行う。
- ・ J R四国は、地域の関係者とともに、推進計画に基づく取組結果を毎年度検証し、推進計画の最終年度（2030年度）には総括的な検証を行い、2次交通も含めたあるべき交通体系の方向性をとりまとめる。

2 これまでの地域との取組状況

(1) 「四国における鉄道ネットワークのあり方に関する懇談会」（2010.4～2011.7）

- ・ 車社会の進展や高速道路の整備・延伸等により、四国の鉄道が極めて厳しい状況に置かれていることから、2010年4月、四国経済連合会が呼びかけて設置された。
- ・ 懇談会では、四国の鉄道ネットワークが直面する課題や目指すべき将来像等について幅広く検討が行われ、2011年7月、「四国の鉄道ネットワークを維持する」とともに、「鉄道の抜本的な高速化を進める」とする「四国の鉄道活性化への提言」が取りまとめられた。
- ・ 本提言の実現に向けて、J R四国と地域の関係者は、鉄道の利用促進及び鉄道ネットワークの維持のための各種施策等に連携して取り組んできた。
- ・ また、鉄道の抜本的な高速化に向けては、四国新幹線の実現を目指した「四国新幹線整備促進期成会」が設立されるなど、地域を挙げた取組が着実に進められてきた。

(2) 「四国における鉄道ネットワークのあり方に関する懇談会Ⅱ」（2017.8～）

- ・ 前回の提言以降、地方の公共交通を取り巻く状況は一層厳しさを増し、全国に先駆けて少子高齢化が進む四国においても、近い将来、鉄道事業者の経営努力のみでは鉄道ネットワークの維持が困難になることが想定されるため、2017年8月、J R四国が呼びかけて設置された。
- ・ 懇談会では、前回の提言後の取組の検証や関係者間での問題意識の共有化を図るなど、議論を深めてきた。その結果、2019年10月、「中間整理」が取りまとめられ、四国の活力の維持・向上を支えるための持続可能な公共交通ネットワークの構築に向け、「新幹線を骨格とした公共交

通ネットワークの構築」を目指すべき将来像とし、「四国の公共交通ネットワークのあり方」について、県別で必要な議論・取組を深度化させていくことが示された。

(3) 県別会議の取組

- ・「中間整理」に基づき、四国4県で県別組織が立ち上がり、J R四国と地域の関係者の連携・協力による議論・検討を踏まえ、2020年9月までに持続可能な公共交通ネットワークの構築に向けた取組内容が取りまとめられた。
- ・「5カ年推進計画 2021～2025」では、県別会議における利便性向上や利用促進等の各種施策の取組と連携し、計画の策定及び検証等を実施した。

※【県別の検討組織】

- 徳島県生活交通協議会ワーキング部会 ○香川県鉄道ネットワークあり方懇談会
- 愛媛県鉄道ネットワークあり方検討会 ○高知県鉄道ネットワークあり方懇談会

3 推進計画の基本的な方針

「5カ年推進計画 2021～2025」に引き続き、県別会議での検討や取組と連携し、新たな5カ年推進計画の策定及び検証等を行う。また、2026年3月に公表した総括検証及び事業の抜本的改善方策の検討結果を踏まえ、各線区の課題やその解決に向けた方向性、改善・深度化を進める内容等に基づく取組も実施する。

(1) 会議体の設置

「5カ年推進計画 2021～2025」の総括的検証のために組織した「J R四国管内利便性向上・利用促進に向けた調査・実証事業協議会」を発展的に活用する。同会議体では、県別会議と相互に連携し、計画の円滑な推進と取組結果の確実な検証、及びP D C Aによる取組内容のブラッシュアップを図る。

- ① 会議名：5カ年推進計画 2026～2030 幹事会
- ② 関係者：徳島県、香川県、愛媛県、高知県、J R四国の各担当者
※オブザーバー：国土交通省（鉄道局、四国運輸局）
- ③ 事務局：J R四国

(2) 対象線区

J R四国管内全線区を対象とする。

○本四備讃線（児島～宇多津）	○予讃線（高松～宇和島）	○内子線（新谷～内子）
○高德線（高松～徳島）	○土讃線（多度津～窪川）	○徳島線（佐古～佃）
○鳴門線（池谷～鳴門）	○牟岐線（徳島～阿波海南）	○予土線（北宇和島～若井）

(3) 取組内容の取りまとめ

- ① 線区別及び4県別に各種施策を取りまとめる。
- ② 項目：「利便性向上」「利用促進」「持続可能性向上」「その他」の4項目に分類する。

(4) 本計画において着目（トレース）するデータ

- ・線区別・区間別の平均通過人員（※1）
- ・取組項目別に評価可能な定量的・定性的データ（※2）
- ・個別線区におけるモニタリングデータ（※3）
- ・沿線人口の推移

※1「平均通過人員（人/日）」＝旅客輸送人キロ（人キロ）÷（営業キロ（ km ）×営業日数（日））

※2 企画乗車券等の発売枚数、各種イベントの動員数、アンケート調査など

※3 定期外利用、利用率、満足度、重要度認識、個別施策の利用意向など

【2025年度平均通過人員】

線名	区間	営業キロ (km)	平均通過人員 (人/日)		
			定期外	定期	合計
本四備讃線	児島 ～ 宇多津	18.1	19,572	4,854	24,427
予讃線	高松 ～ 宇和島	327.0	3,578	2,418	5,996
	高松 ～ 多度津	32.7	13,560	10,525	24,085
	多度津 ～ 観音寺	23.8	5,508	2,619	8,127
	観音寺 ～ 今治	88.4	3,609	1,455	5,064
	今治 ～ 松山	49.5	3,374	2,843	6,217
	松山 ～ 内子	91.6	1,134	1,172	2,306
	新谷 ～ 宇和島				
	向井原 ～ 伊予大洲	41.0	136	184	319
内子線	新谷 ～ 内子	5.3	1,303	1,477	2,780
高德線	高松 ～ 徳島	74.5	1,612	2,166	3,778
	高松 ～ 引田	45.1	1,708	2,465	4,174
	引田 ～ 徳島	29.4	1,464	1,707	3,172
土讃線	多度津 ～ 窪川	198.7	1,594	909	2,503
	多度津 ～ 琴平	11.3	3,144	1,970	5,114
	琴平 ～ 高知	115.3	1,961	555	2,516
	高知 ～ 須崎	42.1	973	2,034	3,007
	須崎 ～ 窪川	30.0	468	293	761
徳島線	佐古 ～ 佃	67.5	586	1,589	2,175
鳴門線	池谷 ～ 鳴門	8.5	483	1,335	1,818
牟岐線	徳島 ～ 阿波海南	77.8	425	1,037	1,462
	徳島 ～ 阿南	24.5	1,123	2,748	3,870
	阿南 ～ 牟岐	43.2	120	275	395
	牟岐 ～ 阿波海南	10.1	38	145	183
予土線	北宇和島 ～ 若井	76.3	43	63	107
JR四国全線		853.7	2,399	1,678	4,077

(5) 各県別の具体的な取組内容

※別紙参照

4 今後の進め方

- ・本推進計画に基づき、J R 四国と地域の関係者が一体となって取組を進めていく。
- ・県別会議と連携した計画の策定及び検証等を基本とするが、別途、推進計画に特化した取組内容については、必要により幹事会での検証結果等を県別会議にフィードバックする（県別会議との相互連携）。
- ・毎年度、P D C A により推進計画のブラッシュアップを行う。
- ・推進計画の最終年度（2030 年度）には、総括的な検証を行い、2 次交通も含めたあるべき交通体系の方向性をとりまとめる。

	2026年度				2027～2029年度				2030年度			
	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV
①計画の策定												
②計画の取組												
③取組の検証（年度）					★				★			
④計画の改善・深度化												
⑤総括的な検証等												

具体的取組
【5力年推進計画2026～2030】

2026年8月

四国旅客鉄道株式会社

1 これまでの地域との取組

(5カ年推進計画2021～2025)

駅を中心としたまちづくり

交通モード間の利便性向上・連携強化

◆駅周辺整備

(1)高松駅ビルの開発

- ・2024.3.22「TAKAMATSU ORNE（タカマツ オルネ）」開業

(2)県立アリーナ（あなぶきアリーナ香川）の整備

- ・2025.2.24開館 サザンオールスターズによる公演を皮切りに様々なイベントを開催

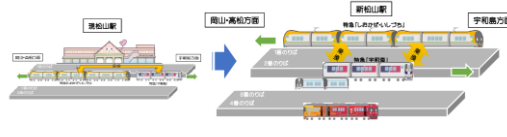
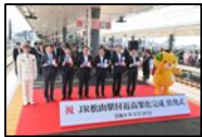
(3)高松駅北側プロムナード

- ・社会実験を経て2025.2.24～土日休日をプロムナード化



(4)松山駅付近連続立体交差事業の推進

- ・2024.9.29「松山駅付近連続立体交差事業」高架線完成及び新JR松山駅開業
- ・高架下商業エリア「JR松山駅だんだん通り」も同時開業
- ・特急列車「しおかぜ・いしづち」と「宇和海」が同一ホームで乗換可能（対面乗換方式）



(5)須崎市海のまちプロジェクト

- ・2027年迄に整備予定の図書館複合施設を見据え中心市街地の活性化やコンテンツ制作、仕組み創り等を目指すプロジェクト
- ・2021.12海のまちのエントランスとなる須崎駅舎をリノベーション



◆運行体系、ダイヤ面での連携

(1)パターンダイヤの導入

- 都市圏を含む全線区への導入・拡大
- 時間が統一されたパターンダイヤの導入
 - ◇利用者にとってわかりやすい時間に
 - ◇他モビリティが接続しやすい（交通結节点強化）

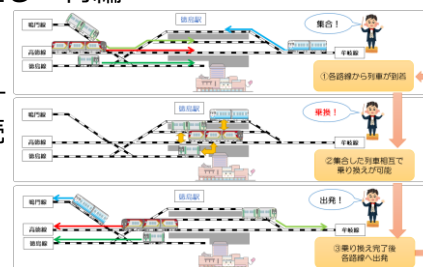
⇒路線バス・コミュニティバスの路線見直し・再編 高知駅発車時刻表の一部

JRとの接続を意識したダイヤ設定

○タクトダイヤの導入（徳島駅）

- ・2024.3.16～徳島駅の着発車時間帯を統一
- ・複数の路線をパターン化して、相互に接続するダイヤとすることで、線区相互間の利用が便利に

8	01	10	30
9	13	15	45
10	13	15	45
11	13	15	45
12	13	15	45
13	13	15	45
14	13	15	45
15	13	15	45
16	13	15	45
17	13	29	49



(2)鉄道・並行バス共通時刻表作成

- ・JR四国ポケット時刻表（2024.3販売終了）
- ・JR四国HP内に、並行するバスの時刻表を掲載
予讃海回り線・土讃線・予土線・牟岐線の一部区間

鉄道とバスを合わせることで移動機会が増え、お客様の移動ニーズに応じた公共交通機関の利用が可能。

駅名	バス種別	高松	宇和島	高松	宇和島	高松	宇和島	高松	宇和島	高松	宇和島	高松	宇和島	高松	宇和島
宇和島駅	宇和島線バス	5:46	7:06	7:27	8:54	9:34	10:34	11:27	11:54	11:59	13:24	13:27	13:34	14:54	15:14
北宇和島駅	工場線	5:49	7:10	9:02	9:32	10:42	11:30	12:02	11:11	13:30	13:42	15:02	11:11		
高松駅	高松線	6:04	7:43	9:11	9:50	10:51	11:43	12:11	11:11	13:43	13:51	15:11	11:11		
伊予宮野下駅	Aコープ三園線	6:04	7:48	9:17	9:52	10:57	11:48	12:17	11:11	13:48	13:57	15:17	11:11		
二名駅		6:07	7:52	9:17	9:57	11:12	11:52	12:12	11:11	13:52	14:12	15:12	11:11		
大内駅		6:11	7:55	9:17	10:07	11:17	11:57	12:17	11:11	13:55	14:15	15:15	11:11		
深田駅	深田線	6:16	8:01	9:30	10:06	11:16	12:01	12:30	11:11	14:01	14:10	15:30	11:11		
近永駅	近永線	6:19	7:28	8:04	9:33	10:09	11:13	12:04	12:23	13:46	14:04	14:13	15:33	15:36	

(3)鉄道とバスの連携

- 2022.4.1～徳島県南部における鉄道とバスによる共同経営（並行モード連携モデル）
2023.5.20～共同経営計画の区間拡大（海部高校前バス停・阿波海南駅）

○牟岐～阿波海南間におけるモーダルミックス

2025.7～実証実験を経て関係自治体や交通事業者との連携により社会実装

○東かがわ市モーダルミックス

推進事業開始（2024.4～）

- ・東かがわ市と大川バス、JR四国がそれぞれ役割分担し、学生の通学利便性を向上



交通モード間の利便性向上・連携強化

○路線バスとのモーダルミックス実証実験の実施

- ・予土線宇和島駅～松丸駅を含む区間のJR乗車券類を所持の方が宇和島自動車「虹の森公園線」の宇和島駅前～虹の森公園前間、「日吉・野村線」の宇和島駅前～出目間が乗車可能となる実証実験実施(愛媛県南予南部共創型交通アクセス向上事業)

※2025年度実証実験ではバス定期券でJR予土線一部区間利用可能を追加

- ・予讃海回り線伊予長浜～伊予大洲間を有効区間とするJR定期券で、並行運行する伊予鉄南予バス(長浜駅前～大洲駅前)を無料で利用できる取組

- ・予土線窪川～十川を含む区間のJR乗車券類を所持の方が四万十交通バス「窪川-大正線」「大正-十和線」の窪川～道の駅とおわ間が乗車可能となる実証実験実施

- ・Google Mapにて実証実験の情報掲載



◆営業面での連携

MaaSの実証

○YODO MaaSの実証実験

予土線沿線での生活利用の利便性向上を目的に、鉄道、路線バス、タクシー、コミュニティバスを利用する際に、駅や車内に設置したNFCタグにスマートフォンをタッチすることで、運賃決済可能



◆その他

利便性向上商品の開発

- チケットアプリ「しこくスマートえきちゃん」の開発と導入
- お手持ちのスマホで『いつでも・どこでも』『キャッシュレス』



駅や路線の活性化、利用環境の充実

◆駅環境整備

(1)地域との連携による駅舎整備や活用

- 阿波加茂駅待合施設(東みよし町) 2025.3供用開始
- 高瀬駅駅舎整備(三豊市) 2025.12供用開始
- 引田駅公衆トイレと待合室の整備に合わせて、これらを覆う屋根を整備(東かがわ市) 2025.3供用開始
- 日下駅新駅舎(日高村) 2024.3供用開始



(2)自治体による公衆トイレ整備

- ・無人駅や改札外トイレはお客様以外の使用も多く維持管理に苦慮
- ・公衆トイレを駅周辺に整備・維持管理いただくことにより駅周辺の環境改善とJR四国の設備管理コストを軽減



(3)多言語案内の整備

- ・駅へのデジタルサイネージの整備
 - ①運行情報音声出力 ②5言語表示、2言語音声出力
 - ③運行情報及び列車走行位置情報の表示
- ・みどりの券売機プラスの整備
- ※各県支援活用



(4)Wi-Fi環境の整備

- ・主要駅においてフリーWi-Fiの整備
- ・徳島、高松、松山、高知の4駅で個室型ワークブースを設置

◆車両環境整備

特急車両の環境整備(8000系特急車両のリニューアル)

- 8000系特急車両を2027年度までに逐次リニューアル工事
- ・トイレの洋式化
- ・座席(自由席は窓側のみ)への電源コンセント整備等



観光振興への取組

◆観光列車等による観光振興

(1)「四国まんなか千年ものがたり」の運行

- ・各種周年イベントにあわせ記念缶バッジプレゼント
- ・「四国まんなか千年ものがたり」ひまわり紀行を運行し、ドリンク・スイーツ等オリジナルメニューを提供
- ・アテンダント特別企画「スイーツ紀行」運行
- ・「四国まんなか千年ものがたり」を式場にした結婚披露宴の開催



(2)「藍よしのがわトロッコ」の運行

- ・周年イベントにあわせ記念缶バッジプレゼントや阿波踊りでおもてなし
- ・台湾鉄路が運行する観光列車「藍皮解憂號（ランピジエヨウハオ）」と姉妹列車協定を締結



(3)「伊予灘ものがたり」の運行

- ・各種周年イベントにあわせ記念缶バッジや愛媛県産農産物のプレゼント
- ・予讃線八幡浜以南、予土線での特別運行
- ・愛媛県が開発したオリジナルのデルフィニウム「さくらひめ」を活用した魅力づくりの取組
- ・アテンダント特別企画「スイーツ紀行」運行



(4)「志国土佐 時代の夜明けのものがたり」の運行

- ・各種周年イベントにあわせたプレゼント、記念撮影
- ・4～6、10～12月の毎週金曜日にごめんなはり線運行
高知駅→奈半利駅 煌海（きらめき）の抄
奈半利駅→高知駅 雄飛（ゆうひ）の抄
- ・「おきゃく」の雰囲気を楽しめる座席配置を採用したモニターツアーを実施
- ・「須崎駅19分劇場」等、沿線住民によるおもてなし



(5)「予土線Fun Fun祭り」の開催

- ・「Yodosen Fun Fun Trains」等のラッピング列車を集結させ予土線沿線を盛り上げるイベントを開催
- ・沿線イベント（松丸駅マルシェ・宇和島鉄道全線開通100周年記念事業）との連携
- ・予土線沿線の周遊に便利な臨時列車を運行
- ・ラッピング列車の展示や働くくるまが大集結
- ・高校生による吹奏楽演奏等、賑わいの創出



その他利用促進への取組

◆利用啓発イベントの開催等

- 公共交通利用促進イベント
 - ・交通エコライフキャンペーン
 - ・鉄道の日イベントの開催
 - ・南小松島駅活性化プロジェクト
- 公共交通利用促進絵画コンクールの実施
 - ・2024.1.27 受賞者とそのご家族約40名が高松運転所にて記念見学会



◆貨客混載への取組

特急列車を活用した荷物輸送の実証実験

- ・2023.11.17 宇和島産の「みかん」、岡山産の「ぶどう」を特急「宇和海」「しおかぜ」を使用し、岡山と松山で販売



◆美化活動

- ・地域団体と連携した駅清掃活動等の実施
- ・地元高校生によるマナーアップキャンペーン（駅利用者へのマナー向上の声掛け等）
- ・地元園児等による季節ごとの駅飾り付け（こいのぼり、七夕、クリスマス、お正月等）



2 具体的取組【徳島県内での取組】

2 具体的取組【徳島県内での取組】

【利便性向上】

※対象線区：土讃線（坪尻～大歩危）、高德線（阿波大宮～徳島）、鳴門線、牟岐線、徳島線

取組内容		対象線区	2026	2027	2028	2029	2030
1. 駅を中心としたまちづくり（駅周辺の整備）							
◆駅周辺空間の再編・高度化	①駅周辺整備・駅高架事業の推進 ・徳島駅付近高架化に向けた検討 ・鳴門駅周辺まちづくりの検討	全線区					
◆駅周辺における目的地・滞在機能の充実	①駅周辺での目的地整備 ・交流拠点、公共施設等	全線区					
	②にぎわい創出、回遊性向上に向けた取組	全線区					
2. 交通モード間の利便性向上・連携強化、交通結節機能の強化 ～「公共交通ネットワークの四国モデル」のさらなる追求～							
◆運行体系、ダイヤ面での連携	①パターンダイヤの導入・拡充	全線区					
	②駅への路線バス、デマンドタクシー等の乗り入れ	全線区					
	③鉄道とバス等の連携 ・「徳島県南部における共同経営計画」に基づく共同経営 ・徳島バス南部とのモーダルミックス ・その他実施に向けた検討	全線区					
	④時刻案内での連携 ・鉄道とバスの共通時刻表の作成	全線区					
	⑤鉄道と路線バスによる代替輸送の実施 ・2021年9月～ 土讃線阿波池田～大歩危駅間 （四国交通と代替輸送契約を締結） ・2024年4月～ 土讃線阿波池田～阿波川口駅間 （三好市と代替輸送契約を締結）	全線区					
	⑥J Rダイヤ改正情報提供 ・J Rダイヤ改正時における関係者への事前周知	全線区					

2 具体的取組【徳島県内での取組】

【利便性向上】

取組内容	対象線区	2026	2027	2028	2029	2030
◆営業面での連携 ①異なる交通モードが利用できる企画乗車券の発売 ・「徳島・室戸・高知55フリーきっぷ」発売	全線区					
◆ハード整備 ①駅前広場整備 ・駅前ロータリー、広場の整備	全線区					
②バリアフリーへの取組	全線区					
◆その他 ①レンタサイクル・シェアモビリティの実施 ・駅周辺でのレンタサイクル・シェアモビリティの実施と継続	全線区					
②利便性向上商品の開発 ・チケットアプリ「しこくスマートえきちゃん」の機能拡充	全線区					

3. 駅や路線の活性化、利用環境の充実（利用者視点での環境改善）

◆駅環境整備 ①駅舎等の整備や活用	全線区					
②トイレの整備等	全線区					
③多言語案内・待合環境等の整備	全線区					
◆車両環境整備 ①3600系ローカル気動車の導入	高德線 鳴門線 牟岐線 徳島線					
◆その他 ①「落とし物クラウドfind」導入	全線区					

【利用促進】

取組内容		対象線区	2026	2027	2028	2029	2030
1. 観光振興への取組							
◆観光列車等による観光振興	①「四国まんなか千年ものがたり」の運行	土讃線					
	②「藍よしのがわトロッコ」の運行	徳島線					
	③「ゆうゆうアンパンマンカー」の運行	徳島線					
	④企画列車の運行	全線区					
◆イベント開催時の連携	①臨時列車の運行等 ・地域のイベントと連携した臨時列車の運行 ・臨時駅（田井ノ浜駅）の開設	全線区					
◆その他	①インバウンド向け企画乗車券の発売 ・ALL SHIKOKU Rail Passの発売	全線区					
	②自治体と連携した駅起点ツアーの造成 ・「地域観光チャレンジ」企画ツアーの造成	全線区					
	③観光施設と連携した企画商品の造成	全線区					

【利用促進】

取組内容		対象線区	2026	2027	2028	2029	2030
2. その他利用促進への取組							
◆公共交通へのモーダルシフト促進	①駅への駐車場・駐輪場整備 ・駐車場の整備、パークアンドライドの推進 ・駐輪場の整備	全線区					
	②公共交通利用促進イベント等の開催 ・四国まるごと公共交通利用促進キャンペーン	全線区					
	③モビリティ・マネジメントの推進	全線区					
◆補助制度の活用	①通学定期への運賃補助 ・通学生への定期券運賃助成	全線区					
	②その他運賃助成等	全線区					
	③マイレール意識の醸成 ・県による市町村の鉄道利用促進・利用環境改善に向けた取組への支援	全線区					
◆割引施策の導入	①子供、高齢者、家族向け ・こども四国フリーきっぷの発売	全線区					
◆美化活動	①駅構内・駅周辺の美化活動 ・各駅構内での清掃活動	全線区					
	②その他活動 ・地元住民等による飾りつけ等 (こいのぼり、七夕飾り、クリスマス、門松等)	全線区					

【持続可能性向上】

取組内容		対象線区	2026	2027	2028	2029	2030
1. 地域との連携による運営体制の持続可能性向上							
◆交通結節点の整備・活用及び維持管理の効率化	①駅舎等の整備・活用 ・駅舎の整備 ・地域ニーズを踏まえた駅施設活用	全線区					
	②付帯設備の維持・更新 ・トイレ整備 ・その他の整備	全線区					
	③日中時間帯における集中工事	全線区					
2. 施設・機能の整理・集約による持続的な利用環境の確保							
◆設備の整理・集約	①設備の機能集約 ・駅舎、待合施設の機能集約	全線区					
	②使用頻度の低い設備の見直し	全線区					
3. その他							
◆自治体等との連携による持続可能性向上に向けた取組	①地域団体等と連携した取組の検討・実施	全線区					

【その他】

取組内容		対象線区	2026	2027	2028	2029	2030
◆中長期的な公共交通ネットワークのあり方の検討	①各交通モードの特性や地域の特性・実情を踏まえた適切な公共交通ネットワークのあり方に関する検討	全線区					
	②四国の新幹線の早期実現に向けた機運醸成・要望活動	-					
◆調査等の実施	①継続調査によるモニタリング	全線区					
◆安全性向上に向けた連携	①異常時訓練の実施 ・地震、津波発生時の避難誘導訓練	全線区					
	②安全PR活動への参加 ・全国交通安全運動における踏切安全通行PR活動	全線区					
◆人材の確保・育成・定着に向けた取組	①鉄道施設見学・体験会の開催	全線区					

3 具体的取組【香川県内での取組】

【利便性向上】

※対象線区：本四備讃線、予讃線（高松～箕浦）、土讃線（多度津～讃岐財田）、高德線（高松～讃岐相生）

取組内容		対象線区	2026	2027	2028	2029	2030
1. 駅を中心としたまちづくり（駅周辺の整備）							
◆駅周辺空間の再編・高度化	①駅周辺整備・駅高架事業の推進 ・端岡駅周辺まちづくりの検討 ・坂出駅周辺再整備の推進	全線区					
◆駅周辺における目的地・滞在機能の充実	①駅周辺での目的地整備 ・交流拠点、公共施設等	全線区					
	②にぎわい創出、回遊性向上に向けた取組 ・サポート高松地区のエリアマネジメントの検討	全線区					
2. 交通モード間の利便性向上・連携強化、交通結節機能の強化 ～「公共交通ネットワークの四国モデル」のさらなる追求～							
◆運行体系、ダイヤ面での連携	①パターンダイヤの導入・拡充	全線区					
	②駅への路線バス、デマンドタクシー等の乗り入れ	全線区					
	③鉄道とバス等の連携 ・東かがわ市モーダルミックス推進事業 ・丸亀～琴平間におけるモーダルミックス実証実験 ・その他実施に向けた検討	全線区					
	④時刻案内での連携	全線区					
	⑤鉄道と路線バスによる代替輸送の実施	全線区					
	⑥JRダイヤ改正情報提供 ・JRダイヤ改正時における関係者への事前周知	全線区					

【利便性向上】

取組内容		対象線区	2026	2027	2028	2029	2030
◆営業面での連携	①異なる交通モードが利用できる企画乗車券の発売 ・「ことでん・JRくるり～んきっぷ」発売	全線区					
◆ハード整備	①駅前広場整備 ・駅前ロータリー、広場の整備	全線区					
	②バリアフリーへの取組 ・多度津駅バリアフリー化事業	全線区					
◆その他	①レンタサイクル・シェアモビリティの実施 ・駅周辺でのレンタサイクル・シェアモビリティの実施と継続	全線区					
	②利便性向上商品の開発 ・チケットアプリ「しこくスマートえきちゃん」の機能拡充	全線区					

3. 駅や路線の活性化、利用環境の充実（利用者視点での環境改善）

◆駅環境整備	①駅舎等の整備や活用	全線区					
	②トイレの整備等 ・神前駅（さぬき市）	全線区					
	③多言語案内・待合環境等の整備	全線区					
◆車両環境整備	①8000系特急電車のリニューアル ・2027年度までに逐次リニューアル	本四備讃線 予讃線					
◆その他	①「落とし物クラウドfind」導入	全線区					

【利用促進】

取組内容		対象線区	2026	2027	2028	2029	2030
1. 観光振興への取組							
◆観光列車等による観光振興	①「四国まんなか千年ものがたり」の運行	土讃線					
	②「瀬戸大橋アンパンマントロッコ」の運行	本四備讃線 予讃線 土讃線					
	③企画列車の運行	全線区					
◆イベント開催時の連携	①臨時列車の運行等 ・地域のイベントと連携した臨時列車の運行 ・臨時駅（津島ノ宮駅）の開設	全線区					
◆その他	①インバウンド向け企画乗車券の発売 ・ALL SHIKOKU Rail Passの発売	全線区					
	②自治体と連携した駅起点ツアーの造成 ・「地域観光チャレンジ」企画ツアーの造成	全線区					
	③観光施設と連携した企画商品の造成 ・四国水族館きつぷの発売	全線区					
	④あなぶきアリーナ香川でのイベント開催	—					

【利用促進】

取組内容		対象線区	2026	2027	2028	2029	2030
2. その他利用促進への取組							
◆公共交通へのモーダルシフト促進	①駅への駐車場・駐輪場整備 ・駐車場の整備、パークアンドライドの推進 ・駐輪場の整備	全線区					
	②公共交通利用促進イベント等の開催 ・四国まるごと公共交通利用促進キャンペーン	全線区					
	③モビリティ・マネジメントの推進 ・かがわ健康ポイント事業「マイチャレかがわ！」を使った公共交通利用の動機付け	全線区					
◆補助制度の活用	①通学定期への運賃補助 ・通学生への定期券運賃助成	全線区					
	②その他運賃助成等	全線区					
	③マイレール意識の醸成 ・県による市町村の鉄道利用促進・利用環境改善に向けた取組への支援	全線区					
◆割引施策の導入	①子供、高齢者、家族向け ・こども四国フリーきっぷの発売	全線区					
◆美化活動	①駅構内・駅周辺の美化活動 ・各駅構内での清掃活動	全線区					
	②その他活動 ・地元住民等による飾りつけ等 (こいのぼり、七夕飾り、クリスマス、門松等)	全線区					

【持続可能性向上】

取組内容		対象線区	2026	2027	2028	2029	2030
1. 地域との連携による運営体制の持続可能性向上							
◆交通結節点の整備・活用及び維持管理の効率化	①駅舎等の整備・活用 ・駅舎の整備 ・地域ニーズを踏まえた駅施設活用	全線区					
	②付帯設備の維持・更新 ・トイレ整備 ・その他の整備	全線区					
	③日中時間帯における集中工事	全線区					
2. 施設・機能の整理・集約による持続的な利用環境の確保							
◆設備の整理・集約	①設備の機能集約 ・駅舎、待合施設の機能集約	全線区					
	②使用頻度の低い設備の見直し	全線区					
3. その他							
◆自治体等との連携による持続可能性向上に向けた取組	①地域団体等と連携した取組の検討・実施	全線区					

【その他】

取組内容		対象線区	2026	2027	2028	2029	2030
◆中長期的な公共交通ネットワークのあり方の検討	①各交通モードの特性や地域の特性・実情を踏まえた適切な公共交通ネットワークのあり方に関する検討	全線区					
	②四国の新幹線の早期実現に向けた機運醸成・要望活動	-					
◆調査等の実施	①継続調査によるモニタリング	全線区					
◆安全性向上に向けた連携	①異常時訓練の実施 ・地震、津波発生時の避難誘導訓練	全線区					
	②安全PR活動への参加 ・全国交通安全運動における踏切安全通行PR活動	全線区					
◆人材の確保・育成・定着に向けた取組	①鉄道施設見学・体験会の開催	全線区					

4 具体的取組【愛媛県内での取組】

【利便性向上】

※対象線区：予讃線（川之江～宇和島）、内子線、予土線（北宇和島～真土）

取組内容		対象線区	2026	2027	2028	2029	2030
1. 駅を中心としたまちづくり（駅周辺の整備）							
◆駅周辺空間の再編・高度化	①駅周辺整備・駅高架事業の推進 ・松山駅周辺まちづくりの推進	全線区					
◆駅周辺における目的地・滞在機能の充実	①駅周辺での目的地整備 ・交流拠点、公共施設等	全線区					
	②にぎわい創出、回遊性向上に向けた取組	全線区					
2. 交通モード間の利便性向上・連携強化、交通結節機能の強化 ～「公共交通ネットワークの四国モデル」のさらなる追求～							
◆運行体系、ダイヤ面での連携	①パターンダイヤの導入・拡充	全線区					
	②駅への路線バス、デマンドタクシー等の乗り入れ	全線区					
	③鉄道とバス等の連携 ・予土線（愛媛県側）におけるモーダルミックス実証実験 ・その他実施に向けた検討	全線区					
	④時刻案内での連携 ・鉄道とバスの共通時刻表の作成	全線区					
	⑤鉄道と路線バスによる代替輸送の実施 ・沿線のバス事業者と相互の代替輸送契約の締結 予讃線伊予長浜～伊予大洲駅間（伊予鉄南予バス） 予土線宇和島～松丸駅間（宇和島自動車）	全線区					
	⑥ＪＲダイヤ改正情報提供 ・ＪＲダイヤ改正時における関係者への事前周知	全線区					

【利便性向上】

取組内容		対象線区	2026	2027	2028	2029	2030
◆営業面での連携	①異なる交通モードが利用できる企画乗車券の発売 ・「四万十・宇和海フリーきっぷ」発売	全線区					
◆ハード整備	①駅前広場整備 ・駅前ロータリー、広場の整備	全線区					
	②バリアフリーへの取組	全線区					
◆その他	①レンタサイクル・シェアモビリティの実施 ・駅周辺でのレンタサイクル・シェアモビリティの実施と継続	全線区					
	②利便性向上商品の開発 ・チケットアプリ「しこくスマートえきちゃん」の機能拡充	全線区					

3. 駅や路線の活性化、利用環境の充実（利用者視点での環境改善）

◆駅環境整備	①駅舎等の整備や活用 ・近永駅舎建て替え（鬼北町）	全線区					
	②トイレの整備等	全線区					
	③多言語案内・待合環境等の整備	全線区					
◆車両環境整備	①8000系特急電車のリニューアル ・2027年度までに逐次リニューアル	予讃線					
◆その他	①「落とし物クラウドfind」導入	全線区					

【利用促進】

取組内容		対象線区	2026	2027	2028	2029	2030
1. 観光振興への取組							
◆観光列車等による観光振興	①「伊予灘ものがたり」の運行	予讃海回り線					
	②「予土線3兄弟」の運行 ・しまんトロッコの運行 ・海洋堂ホビートレインの運行 ・鉄道ホビートレインの運行	予土線					
	③企画列車の運行 ・夕焼けビールトロッコの運行 ・サイクルトレインの運行	全線区					
◆イベント開催時の連携	①臨時列車の運行等 ・地域のイベントと連携した臨時列車の運行 ・松山中央公園でのプロ野球、コンサート等の開催に合わせた臨時列車の運行	全線区					
◆その他	①インバウンド向け企画乗車券の発売 ・ALL SHIKOKU Rail Passの発売	全線区					
	②自治体と連携した駅起点ツアーの造成 ・「地域観光チャレンジ」企画ツアーの造成	全線区					
	③観光施設と連携した企画商品の造成 ・「内子・大洲町並散策1日パス」の発売	全線区					
	④予土線利用促進 ・YODOSENサポーター事業の展開（ファンの展開） ・各種PR事業の実施 ・予土線利用促進対策協議会 ・予土線駅前マルシェ	予土線					

【利用促進】

取組内容		対象線区	2026	2027	2028	2029	2030
2. その他利用促進への取組							
◆公共交通へのモーダルシフト促進	①駅への駐車場・駐輪場整備 ・駐車場の整備、パークアンドライドの推進 ・駐輪場の整備	全線区					
	②公共交通利用促進イベント等の開催 ・四国まるごと公共交通利用促進キャンペーン	全線区					
	③モビリティ・マネジメントの推進 ・ノーマイカー通勤デーの実施 「愛媛県公共交通利用促進宣言」毎月1回設定	全線区					
◆補助制度の活用	①通学定期への運賃補助 ・通学生への定期券運賃助成	全線区					
	②その他運賃助成等 ・予土線を利用する遠足、文化・スポーツ交流等の行事に対し運賃補助（予土線利用促進対策協議会）	全線区					
	③マイレール意識の醸成 ・県による市町村の鉄道利用促進・利用環境改善に向けた取組への支援	全線区					
◆割引施策の導入	①子供、高齢者、家族向け ・こども四国フリーきっぷの発売	全線区					
	②通学定期所持者向け特急利用通学割引 ・「スマえき通学定期券de『宇和海』特急券」、「通学定期de『宇和海』回数券」発売	予讃線					
◆美化活動	①駅構内・駅周辺の美化活動 ・各駅構内での清掃活動	全線区					
	②その他活動 ・地元住民等による飾りつけ等 （こいのぼり、七夕飾り、クリスマス、門松等）	全線区					

【持続可能性向上】

取組内容		対象線区	2026	2027	2028	2029	2030
1. 地域との連携による運営体制の持続可能性向上							
◆交通結節点の整備・活用及び維持管理の効率化	①駅舎等の整備・活用 ・駅舎の整備 ・地域ニーズを踏まえた駅施設活用	全線区					
	②付帯設備の維持・更新 ・トイレ整備 ・その他の整備	全線区					
	③日中時間帯における集中工事	全線区					
2. 施設・機能の整理・集約による持続的な利用環境の確保							
◆設備の整理・集約	①設備の機能集約 ・駅舎、待合施設の機能集約	全線区					
	②使用頻度の低い設備の見直し	全線区					
3. その他							
◆自治体等との連携による持続可能性向上に向けた取組	①地域団体等と連携した取組の検討・実施	全線区					

【その他】

取組内容		対象線区	2026	2027	2028	2029	2030
◆中長期的な公共交通ネットワークのあり方の検討	①各交通モードの特性や地域の特性・実情を踏まえた適切な公共交通ネットワークのあり方に関する検討	全線区					
	②四国の新幹線の早期実現に向けた機運醸成・要望活動	-					
◆調査等の実施	①継続調査によるモニタリング	全線区					
◆安全性向上に向けた連携	①異常時訓練の実施 ・地震、津波発生時の避難誘導訓練	全線区					
	②安全PR活動への参加 ・全国交通安全運動における踏切安全通行PR活動	全線区					
◆人材の確保・育成・定着に向けた取組	①鉄道施設見学・体験会の開催	全線区					

5 具体的取組【高知県内での取組】

5 具体的取組【高知県内での取組】

【利便性向上】

※対象線区：土讃線（土佐岩原～窪川）、予土線（西ヶ方～若井）

取組内容		対象線区	2026	2027	2028	2029	2030
1. 駅を中心としたまちづくり（駅周辺の整備）							
◆駅周辺空間の再編・高度化	①駅周辺整備・駅高架事業の推進 ・伊野駅周辺まちづくりの検討	全線区					
◆駅周辺における目的地・滞在機能の充実	①駅周辺での目的地整備 ・交流拠点、公共施設等	全線区					
	②にぎわい創出、回遊性向上に向けた取組	全線区					
2. 交通モード間の利便性向上・連携強化、交通結節機能の強化 ～「公共交通ネットワークの四国モデル」のさらなる追求～							
◆運行体系、ダイヤ面での連携	①パターンダイヤの導入・拡充	全線区					
	②駅への路線バス、デマンドタクシー等の乗り入れ	全線区					
	③鉄道とバス等の連携 ・実施に向けた検討	全線区					
	④時刻案内での連携 ・鉄道とバスの共通時刻表の作成	全線区					
	⑤鉄道と路線バスによる代替輸送の実施 ・沿線のバス事業者と相互の代替輸送契約の締結 予土線十川～窪川駅間（四万十交通）	全線区					
	⑥JRダイヤ改正情報提供 ・JRダイヤ改正時における関係者への事前周知	全線区					

5 具体的取組【高知県内での取組】

【利便性向上】

取組内容		対象線区	2026	2027	2028	2029	2030
◆営業面での連携	①異なる交通モードが利用できる企画乗車券の発売 ・「四万十・宇和海フリーきっぷ」発売 ・「しまんと・あしずり号セットくろしお往復きっぷ」発売 ・「徳島・室戸・高知55フリーきっぷ」発売 ・「ひがしこうち観光1日フリーきっぷ」発売 ・「やなせたかしさんふるさとの地を巡る高知ものべ周遊パス」発売	全線区					
◆ハード整備	①駅前広場整備 ・駅前ロータリー、広場の整備 ・佐川駅駅前広場整備	全線区					
	②バリアフリーへの取組	全線区					
◆その他	①レンタサイクル・シェアモビリティの実施 ・駅周辺でのレンタサイクル・シェアモビリティの実施と継続	全線区					
	②利便性向上商品の開発 ・チケットアプリ「しこくスマートえきちゃん」の機能拡充	全線区					

3. 駅や路線の活性化、利用環境の充実（利用者視点での環境改善）

◆駅環境整備	①駅舎等の整備や活用 ・吾桑駅（須崎市）	全線区					
	②トイレの整備等	全線区					
	③多言語案内・待合環境等の整備	全線区					
◆車両環境整備							
◆その他	①「落とし物クラウドfind」導入	全線区					

【利用促進】

取組内容		対象線区	2026	2027	2028	2029	2030
1. 観光振興への取組							
◆観光列車等による観光振興	①「時代の夜明けのものがたり」の運行	土讃線					
	②「予土線3兄弟」の運行 ・しまんトロッコの運行 ・海洋堂ホビートレインの運行 ・鉄道ホビートレインの運行	予土線					
	③企画列車の運行 ・サイクルトレインの運行	全線区					
◆イベント開催時の連携	①臨時列車の運行等 ・地域のイベントと連携した臨時列車の運行	全線区					
◆その他	①インバウンド向け企画乗車券の発売 ・ALL SHIKOKU Rail Passの発売	全線区					
	②自治体と連携した駅起点ツアーの造成 ・「地域観光チャレンジ」企画ツアーの造成	全線区					
	③観光施設と連携した企画商品の造成	全線区					
	④予土線利用促進 ・YODOSENサポーター事業の展開（ファンの展開） ・各種PR事業の実施 ・予土線利用促進対策協議会	予土線					

【利用促進】

取組内容		対象線区	2026	2027	2028	2029	2030
2. その他利用促進への取組							
◆公共交通へのモーダルシフト促進	①駅への駐車場・駐輪場整備 ・駐車場の整備、パークアンドライドの推進 ・駐輪場の整備	全線区					
	②公共交通利用促進イベント等の開催 ・四国まるごと公共交通利用促進キャンペーン	全線区					
	③モビリティ・マネジメントの推進	全線区					
◆補助制度の活用	①通学定期への運賃補助 ・通学生への定期券運賃助成	全線区					
	②その他運賃助成等 ・予土線を利用する遠足、文化・スポーツ交流等の行事に対し運賃補助（予土線利用促進対策協議会）	全線区					
	③マイレール意識の醸成 ・県による市町村の鉄道利用促進・利用環境改善に向けた取組への支援	全線区					
◆割引施策の導入	①子供、高齢者、家族向け ・こども四国フリーきっぷの発売	全線区					
◆美化活動	①駅構内・駅周辺の美化活動 ・各駅構内での清掃活動	全線区					
	②その他活動 ・地元住民等による飾りつけ等 （こいのぼり、七夕飾り、クリスマス、門松等）	全線区					

【持続可能性向上】

取組内容		対象線区	2026	2027	2028	2029	2030
1. 地域との連携による運営体制の持続可能性向上							
◆交通結節点の整備・活用及び維持管理の効率化	①駅舎等の整備・活用 ・駅舎の整備 ・地域ニーズを踏まえた駅施設活用	全線区					
	②付帯設備の維持・更新 ・トイレ整備 ・その他の整備	全線区					
	③日中時間帯における集中工事	全線区					
2. 施設・機能の整理・集約による持続的な利用環境の確保							
◆設備の整理・集約	①設備の機能集約 ・駅舎、待合施設の機能集約	全線区					
	②使用頻度の低い設備の見直し	全線区					
3. その他							
◆自治体等との連携による持続可能性向上に向けた取組	①地域団体等と連携した取組の検討・実施	全線区					

【その他】

取組内容		対象線区	2026	2027	2028	2029	2030
◆中長期的な公共交通ネットワークのあり方の検討	①各交通モードの特性や地域の特性・実情を踏まえた適切な公共交通ネットワークのあり方に関する検討	全線区					
	②四国の新幹線の早期実現に向けた機運醸成・要望活動	-					
◆調査等の実施	①継続調査によるモニタリング	全線区					
◆安全性向上に向けた連携	①異常時訓練の実施 ・地震、津波発生時の避難誘導訓練	全線区					
	②安全PR活動への参加 ・全国交通安全運動における踏切安全通行PR活動	全線区					
◆人材の確保・育成・定着に向けた取組	①鉄道施設見学・体験会の開催	全線区					